

-----3月5日-----

## 今週のアウトルック (3/5 ~ 3/9)

先週は前半、利益確定で引き戻されたのち、再び後半は円売りが進み、週末には高値を更新する形で終了しています。

ただ、ユーロドルは幾分下落傾向にあります。円売りよりもドル買い傾向が少し強くなったように思います。

今週は、週末の米国雇用統計を睨んだ展開になることが予想されます。週前半からもう一段の円売りが進むのか、それとも一旦利益確定が入ってから、円売りが進むのか予想が難しいところですが、一旦利益確定が入る可能性が少し高いように思います。

ドル円は81円台後半まで円安が進んで週末を迎えています。米国雇用統計は、先月よりも強い数字が予想されているわけではないのですが、米国経済回復の見通しは、ある程度の数字を維持できれば崩れないという解釈のようです。週初は82円突破を狙った踏み上げの動きも出てくると思いますが、その後は落ち着いて、週後半にかけて、再びドル買いの勢いが増すようにも思います。

米国雇用統計発表後の動きが気になる場所ですが、数字に関係なく逆方向に大きく動きだすこともあるため、注意が必要のように思います。

ドル円の予想レンジは80円から83円です。

ユーロドルは、ドルに対するユーロの弱さが目立ってきました。ユーロの買い戻しが終了なのか、単なる上昇トレンドの利益確定に過ぎないのかは、まだ見極めが難しい段階だと思います。

ユーロ円は今週、引き続き方向感が定まらない動きになる可能性が高そうです。

ユーロ円の予想レンジは107円から111円です。

ポンド円は、ドル円の強さが継続する限り、ポンド高トレンドが継続しそうです。ただ、週末の米国雇用統計発表後の動きには注意が必要のように思います。

ポンド円の予想レンジは128円から132円です。

今週は米国雇用統計発表までは、基本的には円売りが継続しそうですが、その後の動きが難しいように思います。今までの円安が投機的な要素が強かったのであれば、一気に円高に進む可能性も否定できないように思います。

\* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。